

アイヌの人たちの歴史・
文化等に関する啓発資料

ピラサ

発行日 平成26年1月6日 24号
発行 北海道教育庁学校教育局義務教育課
文責 北海道アイヌ教育相談員

「ピラサ」とは、アイヌ語で「広げる」
を意味する言葉です。

アイヌの人たちが育んできた文化の一つに「こうとうぶんげい口頭文芸こうとうぶんげい」があります。「こうとうぶんげい口頭文芸」とは、文字で書かれたものを読むのではなく、語り手の話を聞いて楽しみ、味わうことで伝えられてきたものです。本号では、この「こうとうぶんげい口頭文芸」に関するクイズを紹介します。（※こうとうぶんげい口頭文芸は、こうしょうぶんげい口承文芸、こうしょうぶんがく口承文学などともいいます。）

アイヌ文化のクイズに挑戦！

～こうとうぶんげい口頭文芸編～

Q1

繰り返しの言葉（アイヌ語では「サケハ」*sakehe*）があり、様々なカムイが体験した身の上を一人称で語る形式の物語をアイヌ語で何というでしょう。

- ① ユカラ
- ② カムイユカラ
- ③ ウエペケレ



Q2

語り手が、炉のそばに座り、レブニ（棒）で炉のふちを叩いて拍子を取りながら、少年が活躍する冒険や体験を語る物語などをアイヌ語で何というでしょう。

- ① ウポボ
- ② リムセ
- ③ ユカラ



Q3

語り手が、自分の体験したことやカムイとの関わりなどを日常会話に近い口調で語る物語をアイヌ語で何というでしょう。

- ① ウエペケレ
- ② トンコリ
- ③ ムックリ

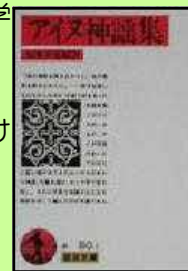


◆Q1～Q3のクイズの答えは、裏面に掲載しています。「知っておこう！」も御覧ください。

指導に当たって

ちり ゆきえ 知里 幸恵さんと「しんようしゅうアイヌ神謡集」について

知里 幸恵さんは、登別村（現在の登別市）で生まれました。幸恵さんは、15歳の頃、アイヌ語学やアイヌ文学を研究していた金田一京助博士と出会いました。金田一博士は、幸恵さんの語学の才能を見抜き、ユカラなどのローマ字筆記をすすめます。幸恵さんは、その後、金田一博士の家に住み込みながら、アイヌの人たちの物語をローマ字に表記し、日本語訳をつけた『アイヌ神謡集』を発表しました。心臓に持病を抱えていた幸恵さんは、完成してまもなく、1922年（大正11年）9月18日、出版を待たずして19歳という短い生涯を閉じました。



〈写真：NPO法人知里森舎蔵〉

アイヌ語 日常会話

アイヌ語による日常会話を紹介しますので、友だちと会話をしてみましょう。

※本書におけるアイヌ語表記は、(社)北海道アイヌ協会「アコロ・イタク アイヌ語テキスト1」(1994)を参考にしています。
なお、アイヌ語は地方によって発音が異なります。

～ 身体の名称 ～

◆ 頭	パ pa	パケ pake	◆ 首	レクツ rekut
◆ 頭	サパ sapa		◆ 腕	タブスツ tapsut
◆ 髪の毛	オトブ otob		◆ 腕	アムニン amunin
◆ 顔	ナン nan		◆ 手	テク tek
◆ 目	シク sik		◆ お腹	ホン hon
◆ 鼻	エトウ etu		◆ 足	ウレ ure
◆ 口	チャラ car		◆ 脚	チキリ cikir
◆ 口	バラ par		◆ 脚	ケマ kema
◆ 耳	キサラ kisar			

会話の例

- *ハイヤー ク・ホニヒ アラカ フミー
hayya ku=honihi arka humi
あぁ、**お腹**がいたいよ。
- *エンコタ エ・ナヌフ ウライエ
enkota e=nanuhu uraye
顔を洗っておいで。
- *ク・シキヒ ピリカ ヤ
ku=sikihi pirka ya
私の**目**、きれいでしょうか。

かるたをつくろう

「アイヌ語かるた」を紹介しますので、ぜひ、声に出して、読み札を読んでください。(今回は「マ行」です。)

マタンプシ ウイルケ

matanpus uyruke

はちまきをつける



メライケワ
ウルウルク

merayke wa uruuruk

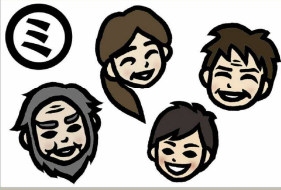
寒さでふるえる



ミナ・アツ コロ オカ・アツ

mina=as kor oka=as

**私たちは
幸せに暮らしている**



モコロコイタク

mokorkoitak

寝言を言う



ムックリ フミ ク・ヌ

Mukkur humi ku=nu

ムックリをならす



◆クイズの答

Q1 ②カムイユカラ

Q2 ③ユカラ

Q3 ①ウエペケレ

Q2の①のウボボは、「座り歌」、②のリムセは、「踊り」のことです。
Q3の②のトンコリは、弦を指で弾く五弦琴、③のムックリは、紐を引いて弁を振動させ口の中で響かせる口琴です。

知っておこう! 「カムイユカラ」、「ユカラ」、「ウエペケレ」の違い

「カムイユカラ」は、人間の姿をした神や動物などの自然神を主人公とした物語です。
「ユカラ」は、超人的な少年を主人公とした冒険などの物語や夫婦の物語などです。
「ウエペケレ」は、昔の人の体験談をもとにした作り話ではない物語です。

<参考資料>

- 「アイヌ民族を理解するために」 北海道環境生活部アイヌ政策推進室
- 「アコロ イタク アイヌ語テキスト1」 (社)北海道アイヌ協会
- 「ポン カンビシ 6 アイヌ文化紹介小冊子 ウエネウサラ 口頭文芸」 北海道立アイヌ民族文化研究センター
- 「アイヌ語ラジオ講座テキスト」 (財)アイヌ文化振興・研究推進機構
- 「菅野茂アイヌ語会話-初級編-」 カムイトゥラノ協会
- 「アイヌの歴史と文化Ⅱ」 東北学院大学文学部教授 榎森 進 編

<イラスト> sayo

<協 力> 北海道立アイヌ民族文化研究センター、知里幸恵 銀のしずく記念館